



日本を代表する投手を目指して



甲子園出場時
(提供：聖心ウルスラ学園高等学校)

10月に開催されたプロ野球ドラフト会議で、妻ヶ丘中学校出身で聖心ウルスラ学園高等学校(延岡市)3年の戸郷翔征さんが、読売巨人軍に6位指名されました。

戸郷さんは、右投げの投手で、平成29年夏の甲子園ではエースとして出場。8月31日の18歳以下日本代表との壮行試合で、9奪三振を記録するなど活躍しました。

野球をしていた父と兄の影響で、小学1年生から三股ブルースカイで野球を始めた戸郷さん。父の「野球

smiling faces of miyakonojo

人の風景

は1人でするものではなく、チームのために協力して行うもの。信頼される人になりなさい」という言葉を胸に、野球と向き合ってきました。中学校の軟式野球部では1年生生まで捕手を務め、2年生で投手に転向。捕手での経験を生かし肩への負担をかけない工夫をすることで、厳しい練習を乗り越え、投手としての楽しさも感じられるようになりました。

高校進学後、硬式野球部に入部した戸郷さん。監督の「普段の生活にも気配りし、自分を磨きなさい」という教えを心掛け、練習を重ねてきました。「監督のおかげで野球だけではなく、生きていく上で大切なことを学んだ」と力を込めます。高校2年生の夏に、エースとして甲子園のマウンドを経験。大舞台に立ったことで、プロになりたいという思いを強くしました。

ドラフト会議で読売巨人軍から指名された時を振り返り、「自分の夢が実現してとてもうれしかった」と顔をほころばせます。11月23日に開催されたファンフェスタで初めて巨人ファンの前に立ち、夢がかなった実感が込み上げた戸郷さん。「4万人の拍手と声援を受け、自分のことを知ってもらいたいと気合が入った」



読売巨人軍
背番号68番
ドラフト6位指名

戸郷 翔征さん

(聖心ウルスラ学園高等学校3年)

と目を輝かせます。

「宮崎県のファンに活躍を見てもらえるように努力し、期待に応えることで感謝の気持ちを伝えたい」と話す戸郷さんは、春季宮崎キャンプにも参加。「早く一軍入りし、息の長い選手になりたい。そして、先輩の菅野智之投手のように、日本を代表する投手になりたい」と抱負を熱く語りました。